

特別対談「古典籍でひもとく江戸時代の暮らし」

高田郁さんはエッセイ集『晴れときどき涙雨 高田 郁のできるまで』でも触れておられるように、中之島図書館にはよく来られていたそうです。図書館で何を考えておられたのか、何を調べておられたのか。調べたものは物語のどこに反映されたのか。『あきない世傳 金と銀』の扉の引用文になぜ、『日本永代蔵』の「ただ金銀が町人の氏系図になるぞかし」を選んだのか。『商売往来』や『菜根譚』の何が高田郁を引きつけたのか？

今回はご友人でもある大阪大学大学院経済学研究科の鈴木敦子先生に「高田郁に聞きたいこと」を投げかけていただき、本を読む楽しさと図書館で調べる面白さについて自由にお話しいただきます。



高田 郁 (たかだかおる) 氏

兵庫県宝塚市生まれ。中央大学法学部卒。法曹界を目指していたが、1993年集英社レディースコミック誌『YOU』で漫画原作者「川富士立夏」としてデビュー。2008年に『出世花』で小説家に。著書に『銀二貫』、『みをつくし料理帖』シリーズ、『あきない世傳 金と銀』シリーズなど。2013年『銀二貫』で第1回大阪ほんま本大賞を受賞し、2022年には第10回となる同賞の大賞を『ふるさと銀河線—軌道春秋—』で受賞。趣味は旅と落語。

鈴木 敦子 (すずきあつこ) 氏

(大阪大学大学院 経済学研究科)

専門は経済史・経営史。近世期の呉服商や貨幣改鋳を研究。著者(分担執筆)に『江戸時代近江の商いと暮らし：湖国の歴史資料を読む』、『奈良屋杉本家二百七十年の歩み：近世から近代への京商家 一商い・生活・信仰』、『近江日野の歴史7』など。経営史学会・出版文化社賞(本賞)受賞。中之島図書館「くずし字入門講座」講師。

2024年3月3日(日) 14:00 ~ 15:30 (13:30 開場) 参加費無料

【会場】 大阪市中央公会堂 B1 大会議室

【定員】 80名 (要事前申込み、抽選制)



© 高田郁

申込み方法 メール、FAX、中之島図書館ご来館のいずれかで承ります。

- メール：eventyoyaku@nakanoshima-library.jp ■ FAX：06-7222-3894
- 中之島図書館ご来館：図書館2階「総合案内」にある申込用紙にご記入のうえお申込みください。
*大阪市中央公会堂では受付できません。 *1回のお申込みにつき2名様まで。
*お申込みは1組につき1回限りでお願いいたします。複数回申し込まれても、1回のみの有効となります。

メール&FAXの記載事項

件名と①～④の項目を明記してお送りください。

件名：特別対談「古典籍でひもとく江戸時代の暮らし」

- ①参加人数 ※2名様まで
- ②お名前・ふりがな(参加者全員分)
- ③代表者の緊急連絡先(携帯番号)
- ④FAXでお申込みの場合、返信用のFAX番号

申込締切 2月17日(土) 23:59
*ご来館による申込みは2月17日(土) 17:00まで

当選発表 2月20日(火)～22日(木)
*期間中、当選者にのみ、メールもしくはFAXにてご連絡いたします。

お問合せ TEL 06-6203-0474 (図書館代表)

【共催】大阪府立中之島図書館／一般財団法人高田郁文化財団／指定管理者 ShoPro・長谷工・TRC 共同事業体

【協力】OsakaBookOneProject 実行委員会



交通アクセス

- Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋」駅・京阪本線「淀屋橋」駅 (1号出口) 北東へ約300m
- 京阪中之島線「大江橋」駅 (6号出口) 東へ約300m
- 京阪中之島線「なにわ橋」駅 (1号出口) 西へ約300m

※公共交通機関をご利用ください。

“本を読む楽しさを伝えたい”

一般財団法人高田郁文化財団



Web site qrchord →

“子どもたちに夢を、子どもたちに本を”

Osaka Book One Project



facebook qrchord →